

Edulico

地球時代の教育情報誌 エデュコ

カラーユニバーサルデザイン特集

臨時増刊号

たったひとりの子どもにも不便を感じさせない教科書づくり



PROFILE

堀田 凱樹 (ほった よしき)

前情報・システム研究機構機構長、元国立遺伝学研究所長、東京大学名誉教授

教育出版高等学校生物教科書著者、カラーユニバーサルデザイン機構創設会員

今の教科書の色づかいでは
区別が付きにくい子どもたちがいます。
カラーユニバーサルデザインを
取り入れるのは素晴らしいですね。

堀田 凱樹

前情報・システム研究機構機構長

人の色覚にはさまざまなタイプがありますが、現在の社会全体では多数の人を対象に考えた「色づかい」がされていることが多いのです。そのため、男性の約5%にもものぼる少数の人が不便を感じることが少なくありません。

最近、すべての人が不便を感じないような色づかい、つまり、カラーユニバーサルデザインが取り入れられるようになりました。たとえば公共交通機関で、案内ボードや路線図などが新しくデザインされているのが目につきます。

とりわけ、まだ社会的な経験が少ない子どもたちの学習の場において

は、少数が不利にならないように色づかいに特別な配慮が必要です。

近年、教科書がカラー印刷されるようになり、カラフルなイラストや飾り文字などがたくさん掲載されています。しかし、理科を例にとると、二種類のリトマス紙がイラストで示され、「どちらのリトマス紙の色が変化しますか」という質問には困ってしまう子どもがいるのです。

すべての子どもたちが、同じように学習できるようにしなければいけません。たったひとりの子どもにでも、不便を感じさせてはいけません。

教育出版では、平成24年度から使用されるすべての中学校新版教科書が、カラーユニバーサルデザインに配慮してつくられるとのこと。す。たいへんすばらしいことだと思います。

カラフルで楽しくわかりやすい教科書をつくるということ、カラーユニバーサルデザインを両立させるのは、これからの教科書会社の務めだと思います。

サルデザインの取り組み

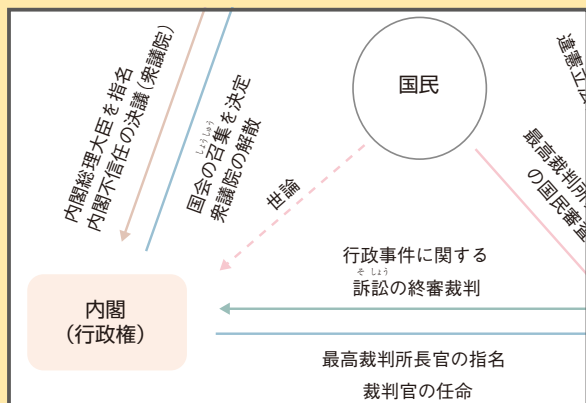


教育出版なら
こうなります
.....

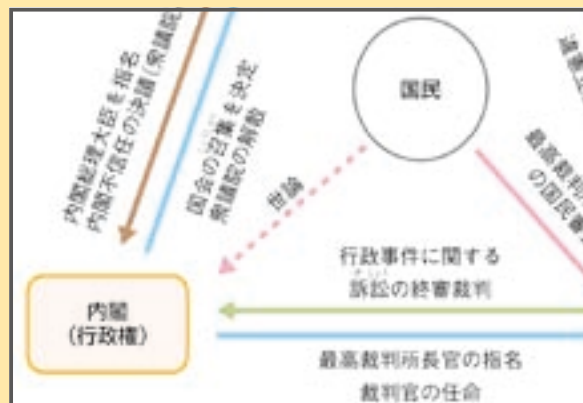
図表で

線を太くし、色の濃度を上げて
違いがはっきり認識できるようにしました。

従来の教科書



新版教科書



教育出版なら
こうなります
.....

地図で

国名は黒と白縁取りに、
地勢図の濃度を下げて国境線を見やすくしました。

従来の教科書



新版教科書



教科書カラーユニバー

教育出版が目指す 「教科書カラーユニバーサルデザイン」

色 弱の人の割合は、男性では約5%と言われています（女性では数百人に1人の割合）。学校現場でも、400人規模の学校（男女同数）では、10人くらいの色弱の子どもがいることになります。色覚の多様性が意識されはじめたこれからは、すべての子どもに不便を感じさせない色づかいをした教科書をつくっていかねばなりません。従来の教科書では、色の判別がしにくいことによって学習に対して苦手意識を持った子どもがいたにちがいありません。



そ の反省に立ち、私たちは、すべての子どもに等しく教育を受ける機会を用意するべく、「みんなにやさしい教科書」をつくっていくことを考えました。それを具体化しようと、平成24年度から使われる中学校新版教科書では、色弱の子どもはもちろん、すべての子どもにとって「見やすく、わかりやすく、色づかいなどを工夫した教科書」づくりを目指しました。このようなカラーユニバーサルデザイン (CUD) の考え方は、例えば、駅の路線図、信号機、各種案内板などに広く取り入れられてきています。

教育出版なら
こうなります...

文字で

結びの筆使いを大きくし、
より見分けが付きやすくなるようにしました。

従来の教科書



新版教科書



不便を感じさせないような色づかい

NPO 法人 カラーユニバーサルデザイン機構 (CUDO)

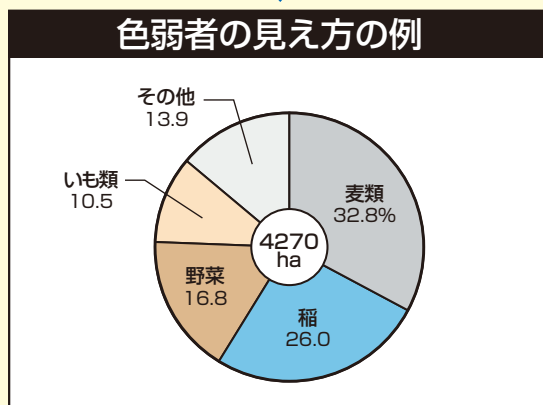
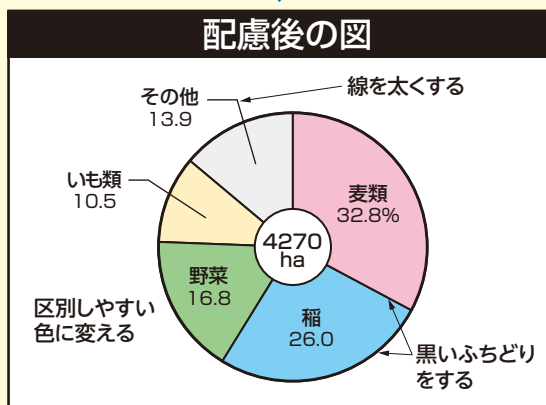
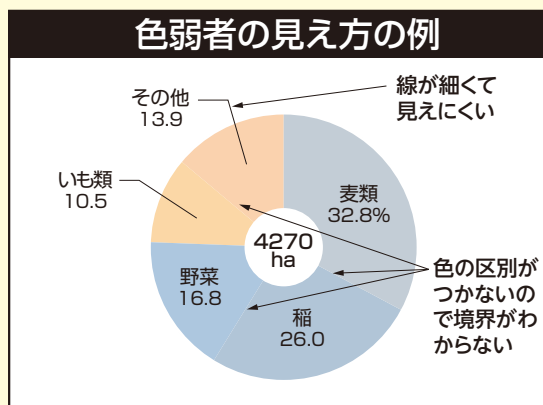
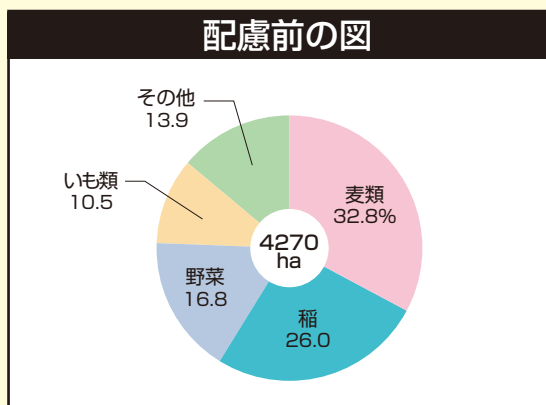
人の目の網膜にある色を感じる視細胞の働き方によって、色覚にはいくつかのタイプがあり、人によってさまざまな色の見え方（感じ方）をします。色覚のタイプのうちで、ある色覚型の人、下の図では右側に示したように見え、配慮が不十分な社会では情報弱者となりうることから、CUDOでは「色弱者」と呼

ぶことを提唱しています。

色弱者は、日本人の男性では約5%を占めています（女性では数百人に1人）。

下の図のように、より多くの色覚型の人に不便を感じさせないような色づかい、つまりカラーユニバーサルデザインを取り入れる例が最近増えてきました。

● カラーユニバーサルデザイン配慮の例



教科書のカラーユニバーサルデザイン

教育出版では、平成24年度のすべての中学校新版教科書をカラーユニバーサルデザインに配慮して編集しています。

当社にも色弱者の社員がおり、その社員がすすんで業務にあたり、教科書紙面のカラーチェックの一端を担っています。編集者に対しても、CUDOなどから講師を招いての勉強会を行っています。そうした研修を通して、編集者も、カラーユニバーサルデザインに関する知識を蓄え、見えやすくするデザインのノウハウを習得しています。

さらに、このようなノウハウを生かして団体、官庁のカラーユニバーサルデザインガイドラインの制作支援なども行っています。



団体賛助会員

教育出版は、CUDOの賛助会員で、CUDOの協力により、教科書のカラーユニバーサルデザイン化を推進しています。